

## 都立学校生のオリンピック・パラリンピック次期開催都市パリへの派遣について

**1 目 的** 東京都オリンピック・パラリンピック教育のレガシーとして、実践的な国際交流による「豊かな国際感覚」の醸成を一層推進するとともに、生徒の交流を通して、東京都のオリパラ教育をパリに継承する。

**2 実施期間** 令和5年1月30日（月）～2月3日（金）

**3 参加生徒** 都立学校生 27人  
 都立白鷗高等学校 都立桜修館中等教育学校 都立葛飾ろう学校  
 都立忍岡高等学校 都立立川国際中等教育学校 都立中央ろう学校  
 都立飛鳥高等学校 都立南多摩中等教育学校 都立立川学園  
 （各校4人） （各校4人） （各校1人）

### 4 事前研修概要

- 東京都のオリパラ教育に関する振り返り
- フランスの文化・歴史に関する学習
- ろう学校生徒による手話に関する演習



手話に関する事前研修

### 5 主な訪問・視察先、活動内容

- クロード・ベルナル校：オリパラ教育取組事例を発表  
スポーツ交流活動（ダンス）
- ラ・フォンテーヌ校：スポーツ交流活動（ボッチャ）  
文化交流活動（書道）
- ルーブル美術館：文化交流活動（美術鑑賞）
- ソルボンヌ大学：近代オリンピックについて学習
- パリ大会開催予定地を視察



東京五輪音頭の紹介

### 6 生徒の振り返り

- 言葉以外に身振りなども交えて様々な生徒と交流した。伝えたい、知りたいという気持ちがあれば、意思疎通を図れると実感した。
- コミュニケーションの障壁は多々あったが、伝えることを諦めず、様々な方法を駆使することで、壁を乗り越えることができた。今後も様々な人々と積極的に関わっていきたい。（ろう学校生徒）
- フランスの高校生の日本への関心の高さに驚くとともに、様々な質問を受ける中で、日本の良さを改めて認識した。
- ボッチャやダンスでの言葉の壁を越えた交流は、とても心地よく、まさにスポーツのもつボーダーレスな魅力だと感じた。
- 世紀を超えた2回目のパリ開催は、理念の継承、歴史の重みのみならず、施設の再活用などSDGsへの意識を強く感じさせた。



近代五輪について学習



パラスポーツ体験(ボッチャ)

### 7 今後の予定

- 各学校での研修振り返りと校内発表
- 2月19日（日） 事後研修
- 3月下旬 成果報告会



学校での振り返り



日本文化紹介(書道)